



1月

の園だよい



2026.1.5
社会福祉法人 檻の会
児童発達支援センター
きらめきの里

あけましておめでとうございます。

2026年も、お子さん達の健やかな成長と保護者の皆様の子育てを、きらめきの里職員一同、全力で応援していきます。“好い事作り”的方法で、安心と満足、“聞く耳”を作り、急がず焦らず、我が子の成長を信じ、楽しく子育て頑張りましょう！本年もどうかよろしくお願ひいたします。

★★★今月のエピソード★★★



★合成写真の自分を真似て、食べることにチャレンジ出来た！パパの成功エピソード♪

今までミルクやスポーツドリンク以外の食べ物を殆ど受け付けなかったAくん。あの手この手で食べることに向けて取り組んできましたが、給食時間は“食べる事に誘われるかもしれない”という警戒心から給食を見ることも嫌がっていました。9月の単独日の給食時間に、みそ汁や牛乳におかずを混ぜたり、スプーンを沈める遊びをするようになったAくん。食への関心を高めるために、Aくんなりの参加の仕方を認め、思う存分混ぜて遊ぶことをOKとして取り組んできました。すると、バナナなどの食べ物に触れるようになり、Aくんにとって給食時間が楽しい時間に変わっていました。12月のある日、パパは“食べてみよう”という気持ちを作るため、Aくんが笑顔でスナック菓子を食べている合成写真を作ってお家で見せてみたところ、その合成写真をじっと見たAくんは、写真の中の自分を真似てサッポロポテトとウエハースを自ら口に入れることができたそうです！パパの作戦大成功！パパとママに褒められて自信が付いたAくんは、家で大好きなクッキーモンスターがクッキーを食べている動画を見た後に、チョコチップクッキーを自ら口に入れてみたりと、口に入れられるものが増えていると伺いました。まだ咀嚼したり飲み込んだりは出来ませんが、自ら口に入れるだけでも大きなステップアップ！Aくんにとっては快挙です！！パパは、様々なメニューを笑顔で食べるAくんの合成写真の種類を更に増やしているところだそうです。Aくんの給食を混ぜる遊びに付き合い、ナイスアイデアでAくんの“やってみよう”という気持ちと成功体験を作ったパパ、素晴らしいです！

★思いを汲み取り、「～したら、○○しよう」の声掛け上手なママ！



降園時、一人で駐車場に飛び出すことのあったBくん。ママは、積もっている雪を食べに行きたいというBくんの行動の理由を汲み取り、それ以来、Bくんが玄関で靴を履き終えると「ママと手を繋いで、雪食べに行こうね」と毎回声を掛けるようにしました。すると、Bくんはその声掛けに応じてママと手を繋いで歩いて駐車場に向かうことが出来るようになりました！子どもの行動には必ず理由があります。「飛び出しちゃダメ！」と否定や制止するのではなく、その理由を推察し満足を作れる形で、好ましい行動を具体的に事前アナウンスするママ、とても素敵です！

黒田 奈保

★好きな物を利用して、思わず出来ちゃった！



初めての活動にはいつも慎重なCくん。初めての高野豆腐遊びの日、水遊びが大好きなCくんが楽しめるように星やハートに型抜きした高野豆腐を水の中に入れて提示してみると、水を触って遊ぶ内に高野豆腐にも触れることができました！「すごい！触れたねー！」とママと担任が拍手して褒めると、一緒に拍手して喜ぶCくん。その後は褒められることを期待し、何度も高野豆腐に觸れることができました。好きな物を利用し、偶然出来ちゃった！という場面を作ることに成功！褒められる喜びを感じ、やってみようとするCくんの成長した姿に感動したママと担任でした♥

漆館 いずみ